

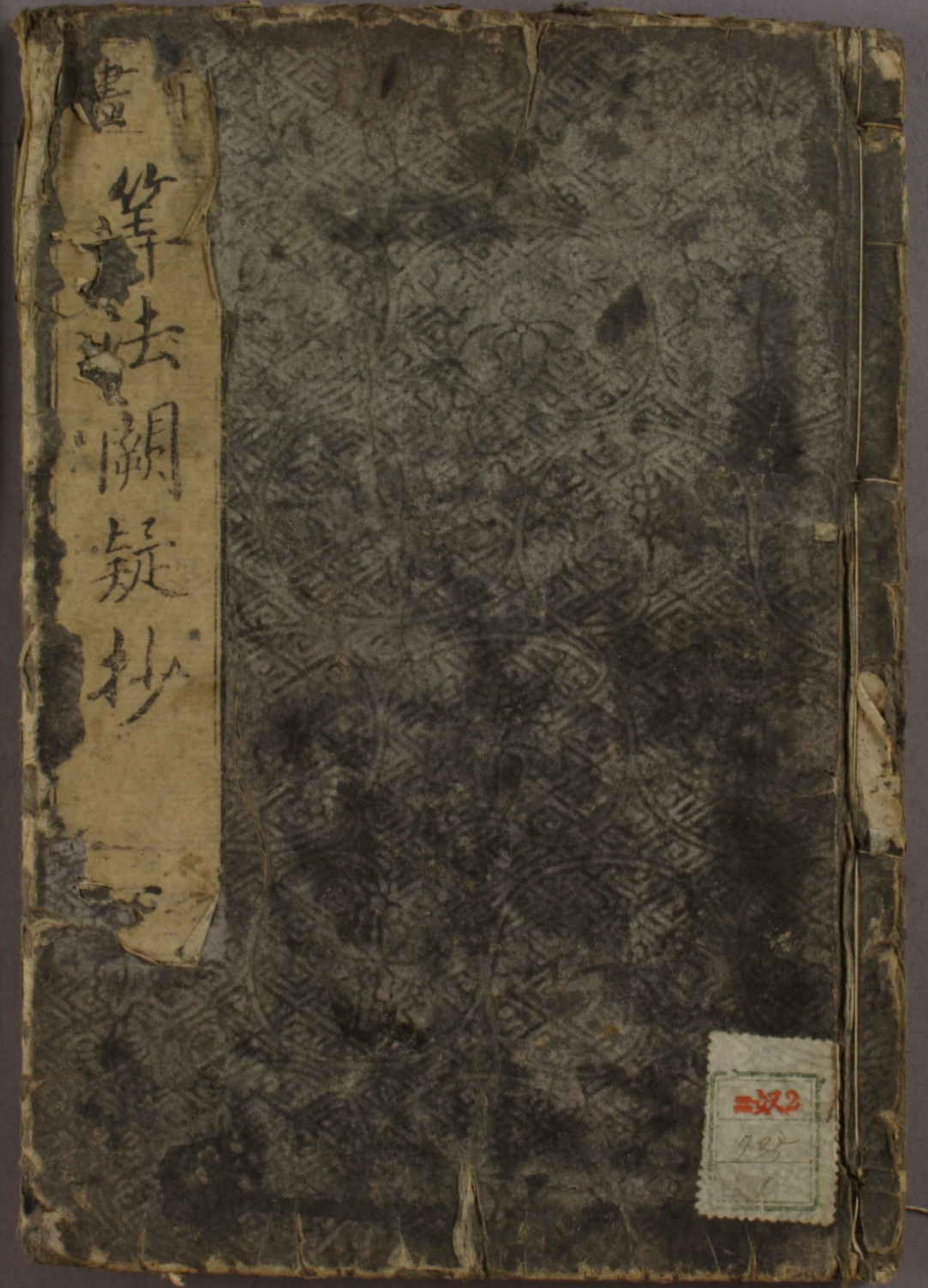
© The Tiffen Company, 2000

KODAK Gray Scale

C Y M

Kodak
LICENSED PRODUCT

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



四二五
卷 135
1-5

增補算法圖疑抄序

謂算法圖疑抄ハ愚予教術未練の仕音初學は門才
よりゆる至りしが感附來りて多く以日傳授て善產
者乎そ易忘難矣頗る有致と述焉にばりあ
じてす。七金代乞も仕りうれ小譯とふゝ細々
師付小かく自考とすへば、かき立筆小記之破壊
ばまし仕りぬ先と小門牙奉りて乞く金不也門
志の人作んまとは道のをれ小門牙小登と扱と
や成さんあらんか人よて云々とて、門牙ヤテ傳の
破り仕ん事ガハ直モ道と云はば。事成
取持小譯てせん廣くぞよかとケリトヨシ云

門内はも小解と何の懸りどん彼處へも見てお施
万傍乃まし怒怒の様と肩付とも不思ひもと
れじ車有がよべと何の益う仕どんや譯也
再三とて七十十自殺ゆればじとて押て被行
乃ひゆきと財八万治三度も年仲春のばくに
様今ハ木金年遺風とも小えすて絶るハ天祐乃
ま小ゆく竹の段ゆる中年のはくがく化去も
歿はとく今ハ輪廻と魂をいとひえせん一義の
考も石と木と義本年盤の西化も六月癸酉
とてあるゆくつらむれ終自然一向を差す者く
成ぬれよ舊友の君來りて義みのゆを重ねて

折小文とてあらへそ竹室をうちの東門時や
布底と御つと竹うが盛時わ後の序小人を導へざ
お應じて道を除異元引り下へ通す方は一側と
試て善法戒範おとおして考究せば余の小量を
いと大なる兼て「世の事小彼よ増補」して本
家の教者と勵め後うもすすゆこと勵めて
万里と走り冀くして四方へ繰り上て而夫の
縁としづび竹の車室がと音ゆかとぞん
や心のうちから小もあらず小ゆを日比何と
書かねば反正の中よりを離れ無くすども未
提て今更にゆとくとくとくとくとくとくとくとく

かれりやくの貞享元年正月春日
花はる津と小記へまうけづ

序

河圖。洛書。太極
兩儀。四象。八卦

六十四卦

數量

基數出生。大數正大乘
小數下十三。度數羅
產數苗。量數品々
衡數品々。諸數仄車

諸輕重區々有之事

增補養生綱要抄 一之卷目錄
數量佐名

諸輕重

。大枚。小枚。皮枚。麪枚。革枚。微枚
。金。銀。紅。銅。綠。洗。湯。慶令。吉爾
。玉石。檜木。栗木。栗石。云。竹。水。茶

九固亥之号

九九之聲也

九帰除之号

八美之聲也

九歸古來ヲ加ル事

九帰除之固

八美之聲也

頭直古來ヲ加ル事

因乗得商掛而割事

江直之号附圖
因乘得商

見一のノ念也
けそん也

歸除得商

兩番相場割
米相場割

帰除得商

石依亞

大弓亞

ね成弓亞

組全亞

組布亞

朱全亞

因乘歸除得商

蠟燭替之事

因乘歸除得商

多弓上と刻美

毛組弓亞

大弓依亞

弓下脩亞

乘除分

○木綿布直段附

乘除支得商

小判小粒直算

乘除分

○紙本子と刻美。上中下木綿が算

乘直

○紙本子と刻美。ひりこぬり

坪直

○木本割

○外はもり

幾直

○材木替。禁木賣買

○外積見分

幾直

○橋倉割付。小身程多割

○幾裏增減和好車

倍加倍減

○穀物買車

等分法

○借銀元等分

○袖布大綿等分

○塙四粧六。穀物買合

始終位定襄。拜領銀

○吸筒竹。賣屋敷

差分法。藏中米壹斗

○念佛題目分。納經分

○兩之直段分。三村付

○杖木分。絹絹分ササ立

増減法

倍加倍減法

一倍_ノ并半_ノ差

等分法

日銀分等分等

○元利等分。利息等分。経費等分。土等分

始終位定襄

○天子の分。足分。事底數處分

差分法

○折半_ノ等分等

差分法

○被半_ノ等分等

○布佛_ノ。布紗處分。那_ノ卷分。那_ノ分

算法闕疑抄序

古伏羲氏繼天而王受

河圖畫之八卦是也太

禹治洪水賜洛書法而

陳之九疇是也太極既

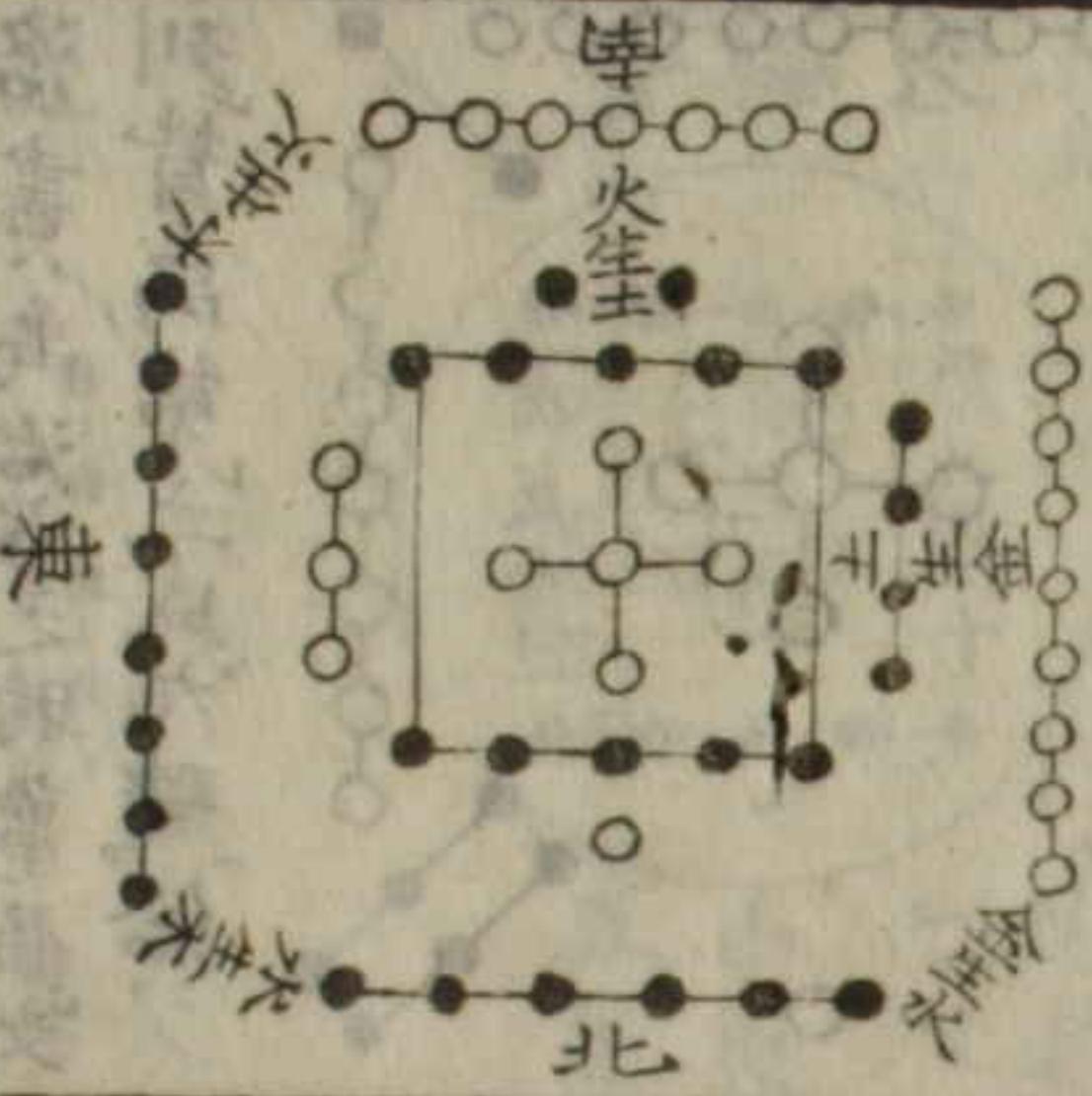
分生兩儀兩儀生四象

四象生八卦矣八卦分

爲十六十六分爲二十

東南中西_ノ度_ノ行_ノ天三五七九數積二十五地二四六八十一數積三十

二三十二分爲六十四



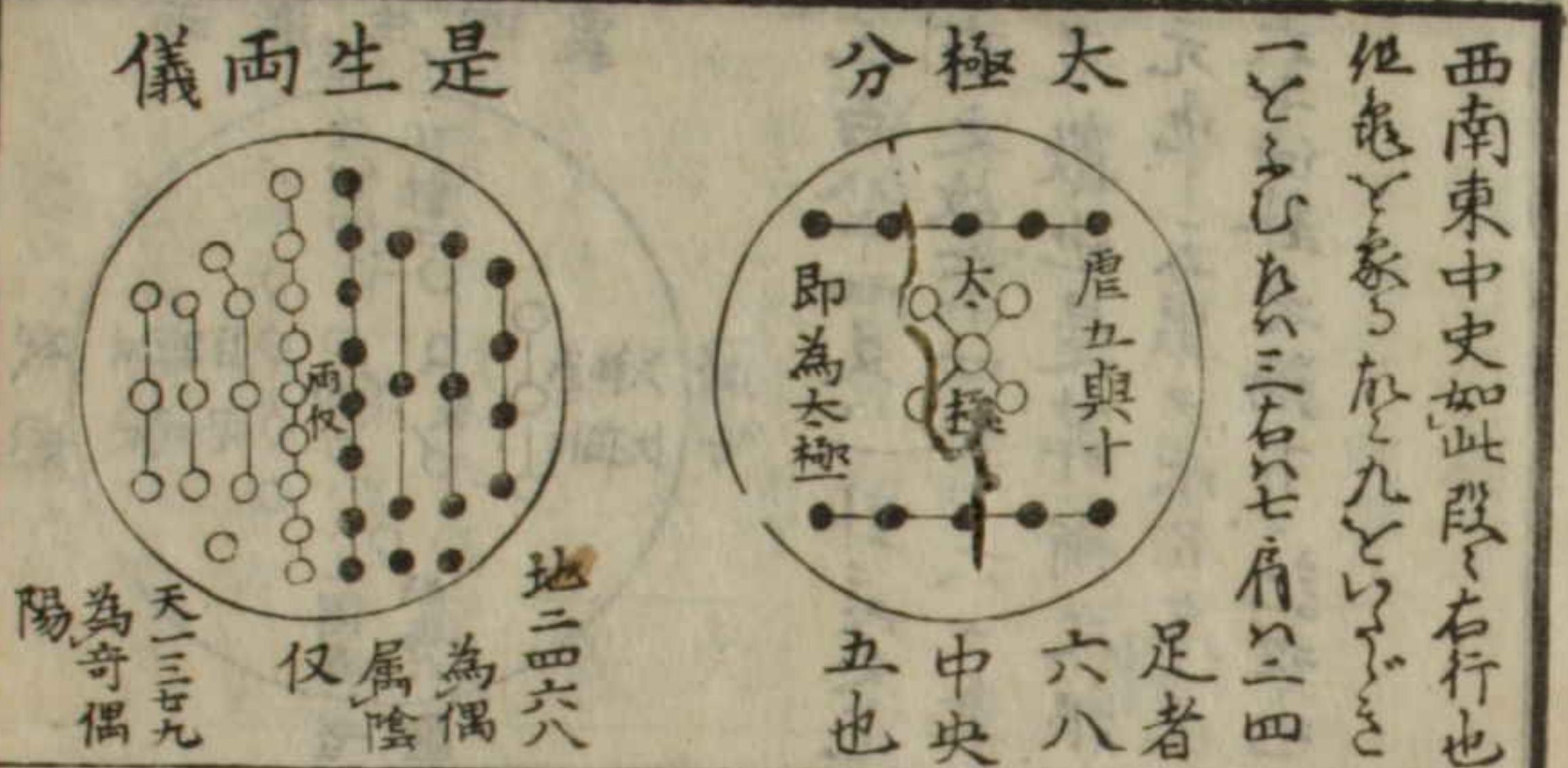
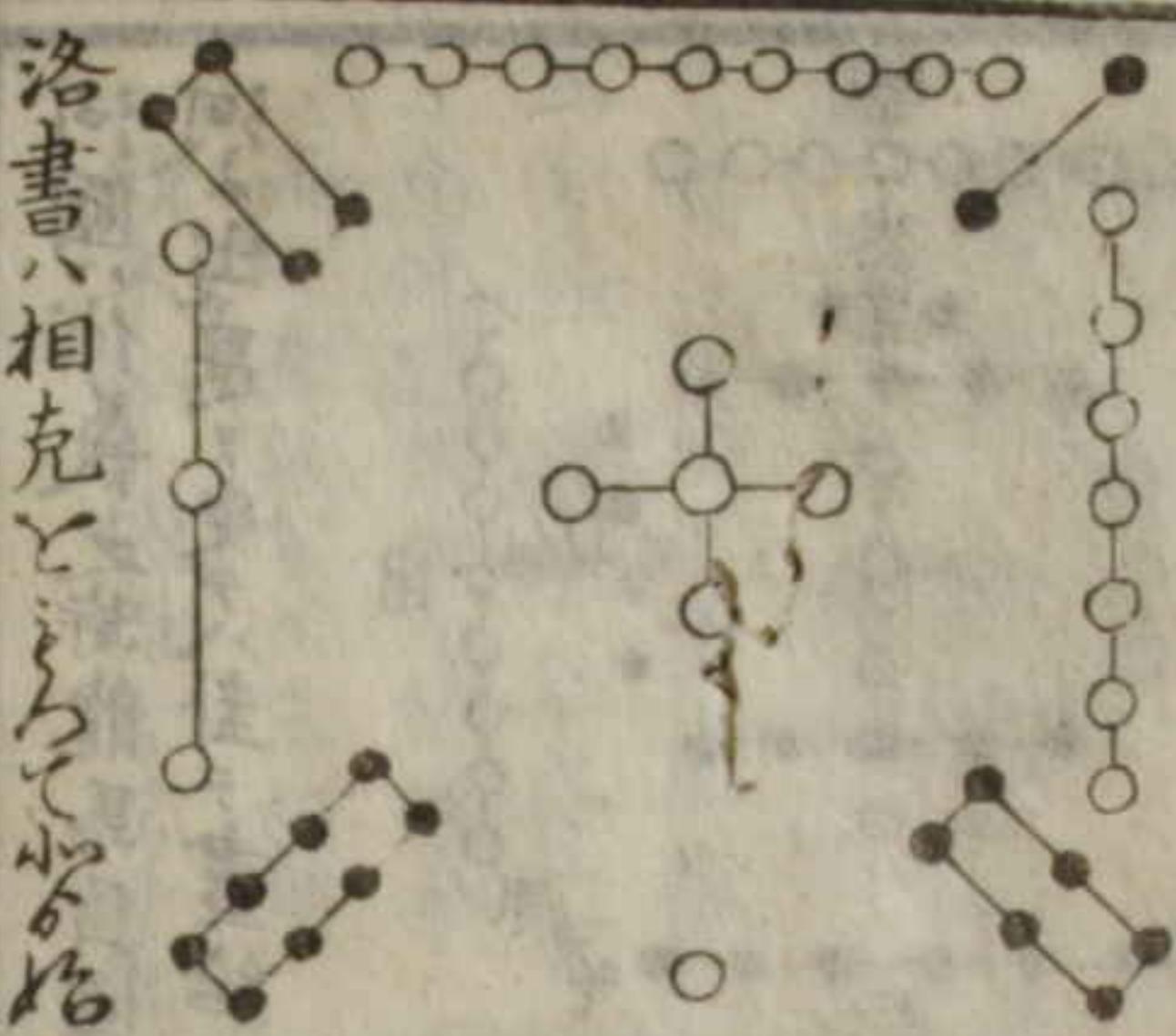
河圖伏羲之時龍馬負圖

河出是_ノ受_テ八卦_ヲ畫_給

河圖_ノ相生_ト生_テ小_ノ始_テ東南中西_ノ度_ノ行_ノ天三五七九數積二十五地二四六八十一數積三十

天地一奇五數求此數
又天下地十拿一也是二
地十乘十得百十折半之
而知也

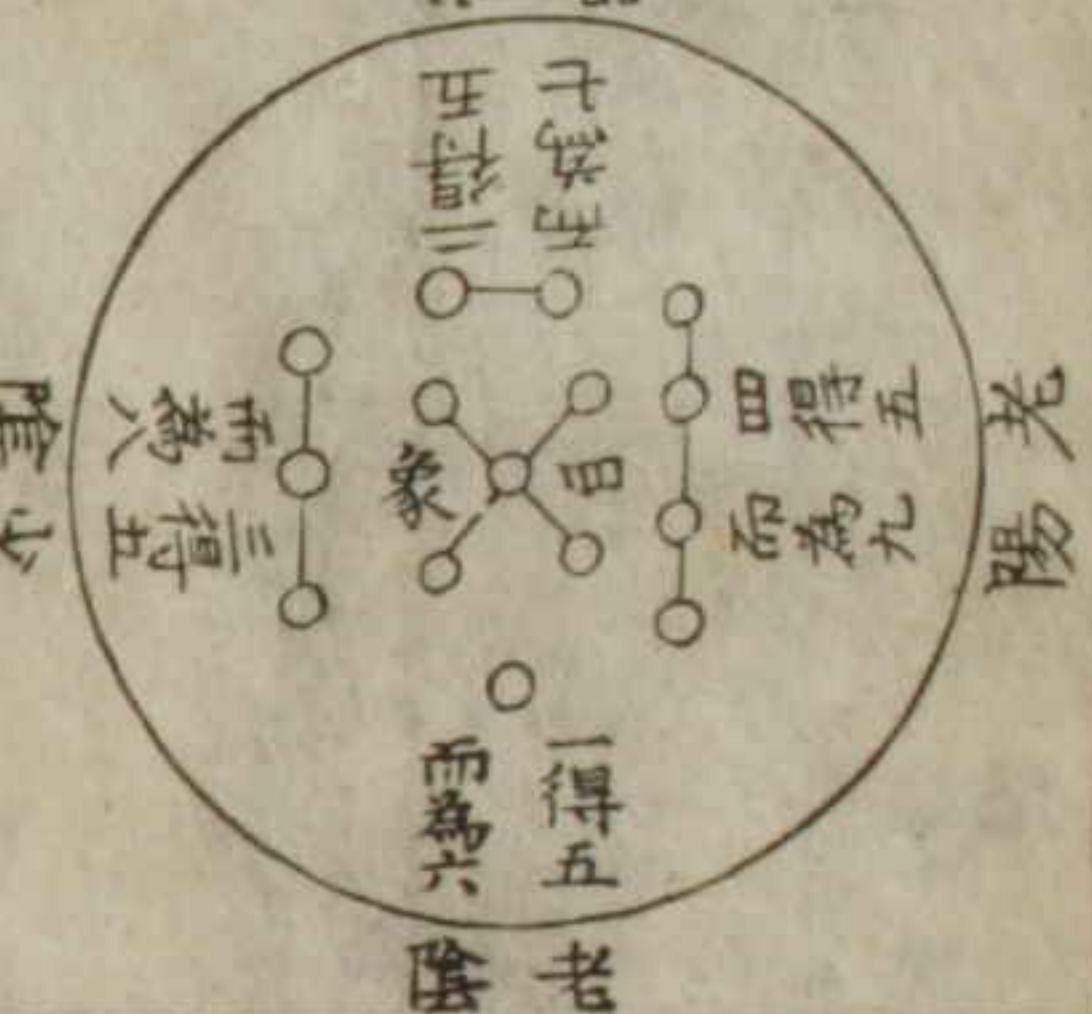
洛書六禹治水之時龜負文
列背禹第之成九疇給



旨而發其歸趣自斯世
世以術數鳴世者多矣
于茲輿州二本松之住
人穉村氏吉德達步作
筭法闕疑抄乞予標題
其初故不得止而山崎
氏立德記焉

卦六十四卦分為三百
八十四爻以至於有千
萬億兆之無窮猶根之
有幹幹之有枝愈繁是算
術之權輿於至宋朝堯
夫先生考仰觀俯察遠
求近取之理固有超然
而默契於心矣達數之

兩儀生四象



三百八十四爻八卦三十六爻究
有之故六十四卦六爻乘
名數也是算術之根
元也卜云事示名序也
六十四卦之號下記之也

坤	艮	坎	兌	乾	姤	遯	否	觀	剥	晉	大有	金
復	貞	旅	困	離	旅	萃	咸	蹇	觀	歸妹	火	火
臨	節	豫	困	離	解	升	蹇	師	剝	同人	大有	金
泰	大畜	屯	解	鼎	未濟	蒙	渙	小過	晉	歸妹	火	火
大壯	損	既濟	益	鼎	未濟	蒙	渙	大過	歸妹	同人	大有	金
夬	睽	革	益	蒙	既濟	蒙	渙	隨	觀	歸妹	火	火
需	履	豐	無妄	既濟	解	升	井	大過	剝	同人	大有	金
比	中孚	明夷	噬嗑	解	升	蒙	渙	歸妹	晉	歸妹	火	火

增補纂法闡綱綱抄

大基數 一二三四五五六七八九十

右基數八諸數之多寡也

一千百千万

億 小篆之十萬位

兆 小篆之十億位

京 小篆之十兆位

垓 小篆之十億位

秭 小篆之十兆位

穰 大篆之十秭位

溝 大篆之十穰位

澗 大篆之十溝位

右立之數八土居中央
而奇位四維應令四支
在人四支也故金木水火
皆待土而後成其氣
土之數立以成之土也

曾謂是少一

大數小乘之儀三重韻稀
文字ノ注ニ千億也。有ノ又風
俗通ニテ千生カノ万生億ヲ
億生京ノ景生稀柿生矣。埃
生壤壤生洞洞生正正生載載
八地王所不触載也ト云々^ト
此說ヨリ見ル則ハ柿ト坡ト

前後セリ又無溝位。飛
越而壤司潤ニ至ル。予カ
習所トハ相違。

正大乘ト云者

万万ヲ億ト云万万億ヲ
兆ト云万万兆ノ京ト云
万万京ヲ垓ト云万万垓ヲ
柿ト云万万柿ヲ壤ト云ウ

小	分 十毫	厘 十毛	毫 十厘	絲 十忽	忽 十微
微 十纖	纖 十沙	沙 十塵	塵 十埃	埃 十忽	
之位	之位	之位	之位	之位	之位

右大教六法也。極奧と曰ふ。諸經之
末位見リケン可とて。モ下より
上、勘上て如本如云事也。

尔後大教之十度て。以細分之等

万万壤ヲ溝ト云万方溝洞
五万方洞ヲ正ト云万方正ヲ載
ト云万万載ヲ極ト云
万万極ヲ恒河沙ト云
万万恒河沙ヲ阿僧祇ト云
ト云万方阿僧祇ノ那由他云
万万不可思議ヲ無量數云
小數下十三位有之也。謂正
○渺。漠。模糊。遙迷
○須臾。瞬息。彈指
○剎那。六德。虛。空
○清。淨。如此也
度數之一。大方ヲ曰堵也
左傳云都城過百堵者

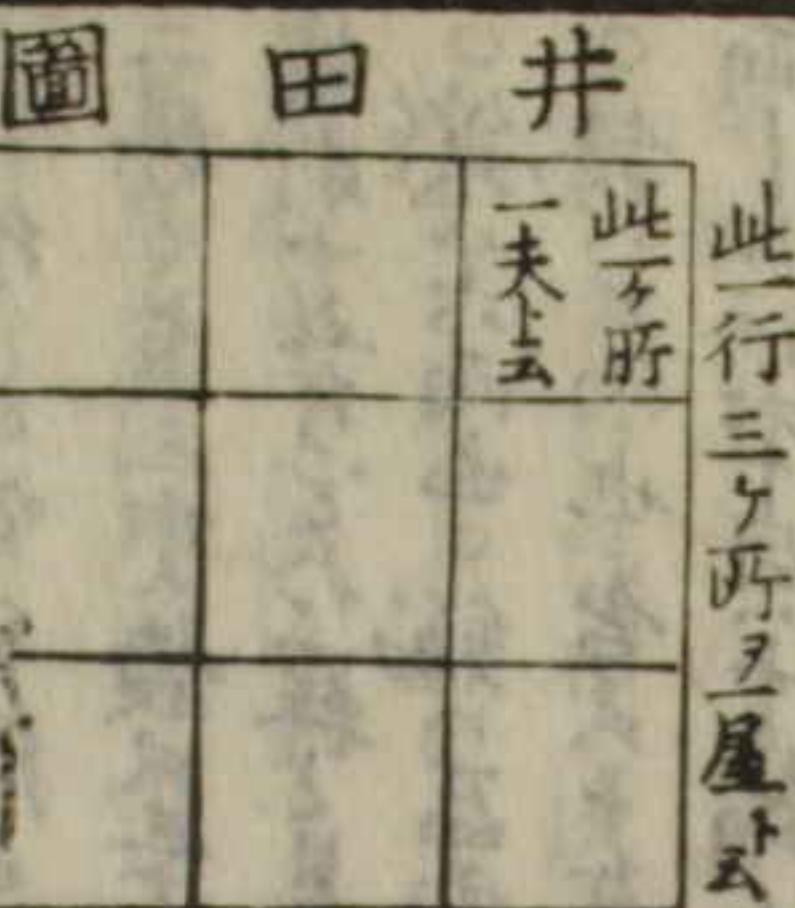
度	數	產	數	町	分	丈	尺	寸	毫	糸	忽
				今古半同方町	長丈參	十尺	十寸	十分	十毫	十忽	十微
				今古半同方	及古三百六十步	十丈	十寸	一分	一毫	一忽	一微
				今古半同方	畝古凡六步	步一間	步四方	步四方	步四方	步四方	步四方

右產教ハ鳥の體也。大度十丈也

丈參。及古三百六十步。丈參。丈參。
分。及古三百六十步。丈參。丈參。
分。丈參。丈參。丈參。丈參。
丈參。丈參。丈參。丈參。丈參。
丈參。丈參。丈參。丈參。丈參。
丈參。丈參。丈參。丈參。丈參。
丈參。丈參。丈參。丈參。丈參。
丈參。丈參。丈參。丈參。丈參。
丈參。丈參。丈參。丈參。丈參。
丈參。丈參。丈參。丈參。丈參。
丈參。丈參。丈參。丈參。丈參。
丈參。丈參。丈參。丈參。丈參。

國之害也。ト云ミ杜預カ注ニ方丈ヲ曰堵三堵ヲ曰雉一雉之牆長三丈高丈ト云且亦禁中百官之座ヲ百堆ト云此故也。

產數之步之度異國ニ方丈尺ヲ步ト横一間直二百四十間ヲ畝ト云澗一丈長六十丈ニ當ル也。六十步ヲ一角ト云然則一畝ハ四角ニ當ル也。百畝ヲ頃ト云。又方六尺ヲニ為歩說モ有之也。字彙畝文字ノ注言曰六尺為步步百ヲ為畝ト云。又秦孝公制二百四十步為畝ト云是八尺ヲ一步メ横一步直二百四十步ヲ以テ可為積又古六尺ヲ為步三百步ヲ為一里ト云此時八六十間ヲ一町ニテ五町一里ト見。但九尺ヲ為歩ト則六尺ハ三百步ハ三百六十步ニ當ル也此時八町一里也且三百步六尺乘以五尺除而可知也。井田之方ハ五町一里、四方ニテ三百間ヲ三々ノ九百畝ト見。但五尺ヲ步ニメ方六町ヲ六々ト呼テ三十六町ヲモ一里ト云也此時八三百六十間四方ト可知。字彙ニ方一里ノ計十二万九千六百步ト云ハ此三百六十步ノ說也。四井ヲ為邑四邑ヲ為丘但十六井也四丘ヲ為甸但六井也公役弋馬四足兵車一乘牛二頭甲士三人轔轔卒七十二人干戈備具是謂之為乘馬也。馬融曰古注司馬法ニ六尺為步步百ヲ為畝畝百為夫夫ニヲ為屋屋三ヲ為井井十ヲ為通通十ヲ為城出革車一乘ト云。



此行三ヶ所ヲ屋ト云

惣九ヶ所ヲ都而井ト云

斛 (京石合) 一斗半
金 (斗合) 一升半
庾 (石合) 一升半
東 (升合) 一升半

量教 (車無國之書島) 有之也

量		數	
粟 (和キ) 之起	石 (十斗) 之伍	斗 (十升) 之伍	外 (十合) 之伍
勺 (十抄) 之伍	抄 (十撮) 之伍	撮 (十圭) 之伍	圭 (十粟) 之伍
石 (十斗) 之伍	斗 (十升) 之伍	外 (十合) 之伍	合 (十勺) 之伍

包氏曰千家之國者百里國也。若者井田方里八井十丈乘百里。國適千家也。是王制法也。よもく被役り見る則ハ城ハ守ルナキ。不飲。一夫ハ百畝又一墳。百畝也。茲モ支ハ方六尺と云。おお百と云。畝百畝也。云。墳ハ方丈尺と云。おお二百四十。ちどり畝百畝也。云。先秦之程伊川曰古者百畝ハ正。寅今之平畝。今之百畝ハ畠を之二百五十畝。と云不然者。異國乎時代後て相違有之也。云。アリ

衡數之事異國書

希う銀十两と一束

ト云。一珠八十象也。不

ハ六珠也。一兩八四分也。

一斤ハ十六兩也。一秤ハ

十五行也。一均ハ五行也。

一碩ハ四均也。先則百

二十斤也。又秤之率

原ハ十五斤今ハ二十斤

二十斤も有。一均ハ

二升と有三重韻ハ半升也

蘇則十五行ての一升と見たり

錢ハ六兩也。鑑ハ四兩也

銅六九兩也。唐云六冬と一

兩と云百六十目ハ十六兩也。而

衡	數	諸	貫	分	斤	兩
					四十兩之伍 唐目百六十目	四分之伍 唐目四分
					和目二百五十目 和目參亨五	和目安二分半
					四分之伍 唐目四分	四分之伍 唐目四分
					和目參亨五 和目安二分半	和目安二分半

右衡數ハ取重と名す。衡數也。處算少分と定む。

諸數之中之延と云。車風俗
通曰馬と目也。布麻と申す
故先と見らるべく
諸輕重之異従多し。故
其品寔に泥惟也。
金目百目十六分銀目百目
鉛八十目銅目六目
鋤六十目銑五十目
錫四目辛夷目唐金目六十目
真鎗目辛夷目青石目二十目
栗石窟書目土壌冒土目土壌
砂目水目七目冒
米目今升二百目安
粟目益升二百目安
栗石一目六方十六目百目
土目十一目水目吉晉冒
石通區之貨之也。從國
所也。吉恩輕重可考列
故年高春秋之歲可考列
故年高春秋之歲可考列
故年高春秋之歲可考列

曾國志

九因 一賀 本卦
九歸 未て初爻は方
世間より來り未を原と
もうて可奉先ニテ應す
○二天代の卦を云へば
云刻ハ本卦也十天

号乗之九因

一因 一一一
二因 一二二三四
三因 一三三三六三九

四因 一四四二四八三四十三

四四夬

五因 一五五二十五三五十五

四五 午五十五

六因 一六六二六十二三六十八

七因 一七七二七十四三七七一

四七 八七卅五六七四二

七七四九

八因 一八八二八十六三八九四

四八 兑 六四四十六四八

七八 兑 八八 壶

九因 一九九二九 大三九九七

四九 共 六九四五六九 壶

七九 壴 八九 丰 九九 八十一

引て又金とそら拂ふ化れ
ととちやすとトとら拂
とと風と化りくろほり
と二六六六をかそ倍變
○四一九へあるあと四つて刻
ひく風とあうて「口の人」
あり「口」を南つちとよ
二十と無ありとトと西へ
○四三七十六六たとへ北東
刻ひく風と南へ牢夫へ
出うてうとをよ七十と
二六六六を南へ。五唐从六
ナウわとと風と刻ひく風と
あととと風と刻ひく風と
とと風と。六一加下只と

一歸

一送ノ一

四送ノ四

五送ノ五

六送ノ六

うち朝ハムキミ死ニ南リト
六引シテ写ルクルトガト
ミツモシル。七一加下二トハ一
加下二ト日志く。六二加二ト
タウケと玄刻ハムキミ死
ト南リ三六千八引トカド
有れ六四十六军のわと
ちも三十六引トカド
れ六五八十二ハ五十トカミ刻
レハムアモリ。八軍八引
二十九九。七二加下六と
二十トセラト刻ハ三七吉ノ
九らどトカル。八二加下二
八三加下六日志く。七三軍

七送ノ七	八送ノ八	九送ノ九
二歸	二一加四	二送ノ一
六送	三	八送ノ四
三歸	三一加二	三二加四二
六送ノ二	九送ノ三	三送ノ一
四歸	四一加二	四二加三
四医ノ一	四三加二	四三加二
五歸	五一加一	五二加二
五四加四	五三加三	五三加二
六歸	六一加四	六二加二
六三加三	六三加二	六三加二
七歸	七一加三	七三加二
七一加下三	七三加下六	七三加二

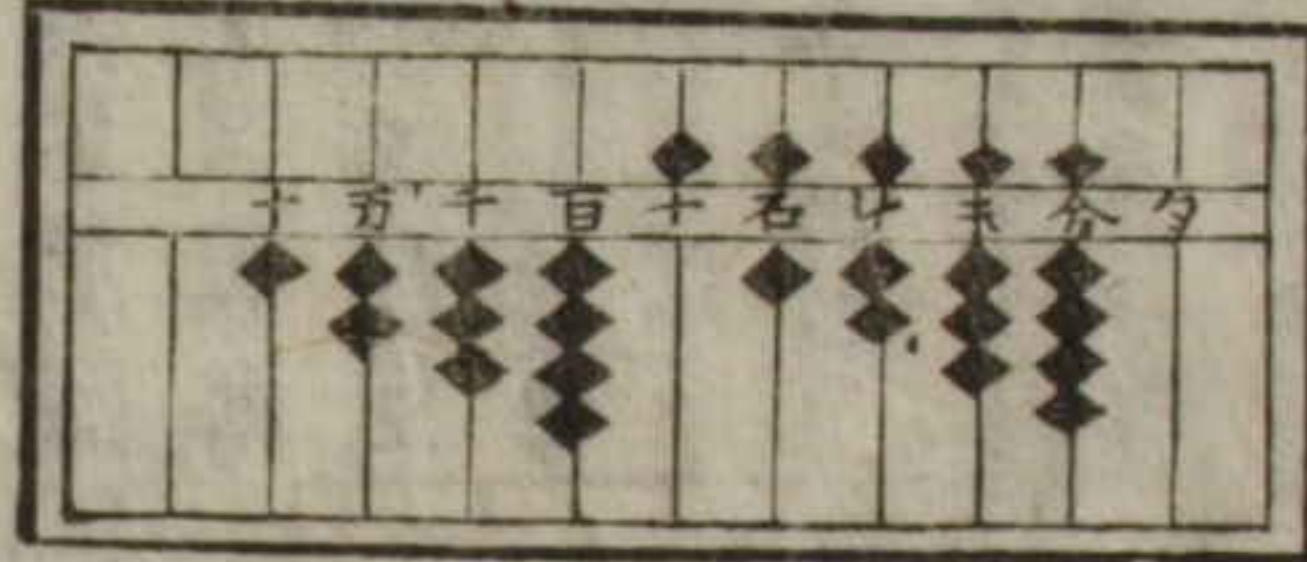
二六世ト玄刻ハムキミ死
四七九八引浦三引ノ七
○七四十五十六トムシ九
浦モ吾志れ。七六八十四ハ
八引シテ写ルクルト。八九六
十二六辛ト八四刻ハムキミ
あう六八四十八引ハ浦
テカクル。八六七十四
浦モ吾志れ。八七八五十六引
ハ八六七十七引ハ浦
テカクル。九一加下モト
ハ八六七〇九一加下モト
ハモトムシトムシ。九一加下モト
ハモトムシトムシ。

七四加五	七五加二	七六加四
七送ノ一		
八歸	八一加下二	八二加四
八四	八四加一	八五加五
八四加六	八五加五	八六加一四
九歸	九一加下二	九二加下二
九四加下四	九五加五	九六加下六
九七加下七	九八加下八	九送ノ一

右九内除ハ刻義ト始也。一ゆハ一役斗モ
妙サ浦ハ八九内。原八九内。法義代
ミと後て刻小丸スム。アラハ

初學習之圖

九内除とすを
皆の号ち近を
始とほふ傳
事とすを承り
の氣とす
事お加へ
九進九十
八進八十
七進七十
六進六十
立進辛
四進四十
三進三十
二進二十
一進十



繫合除三万三千石辛立石七斗八升九合

十人刻一人あ
百人刻一人あ
千人刻一人あ
万人刻一人あ

算

十人刻

百人刻

千人刻

万人刻

九送九
八送八
七送七
六送六
五送五
四送四
三送三
二送二
一送一とて
よもよとて

そぬハ
十分
千分一
萬分一
と底斗を見る也

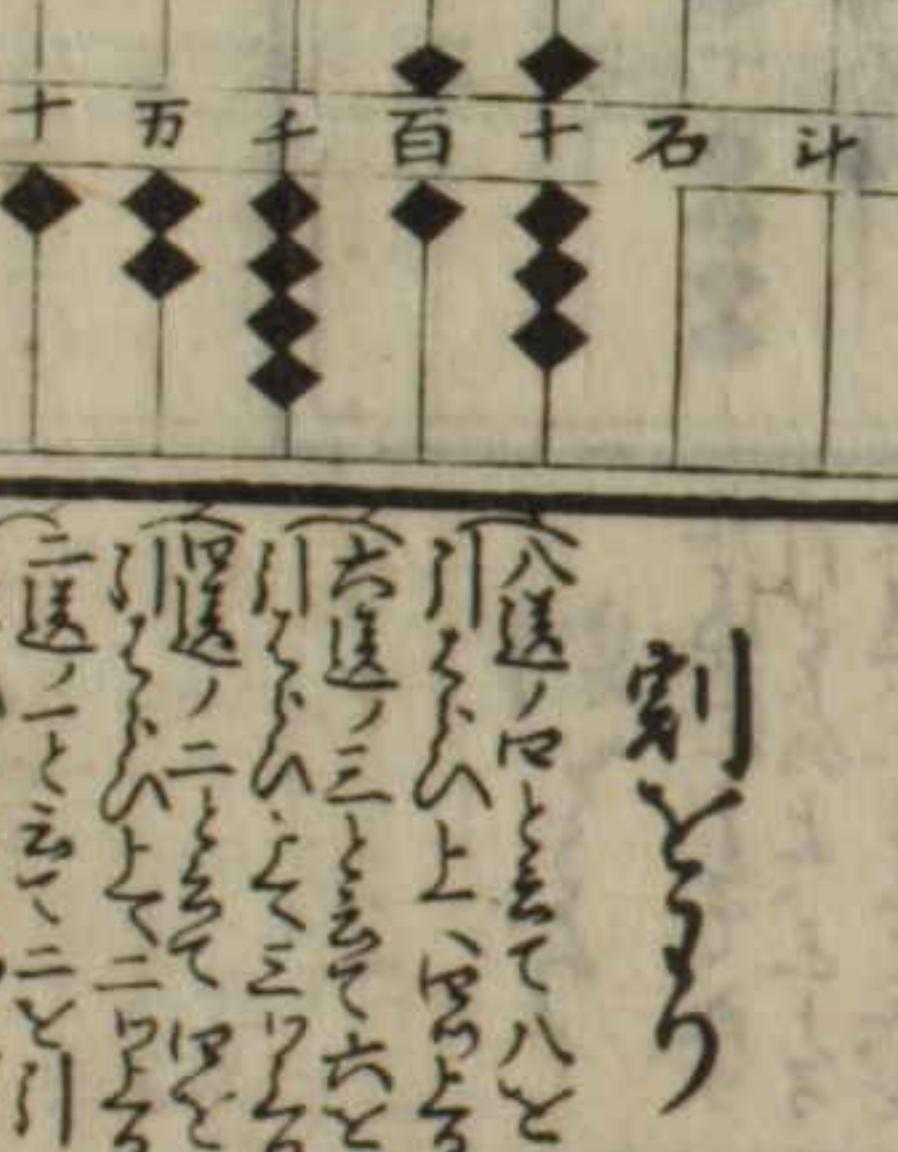
毛々未止と
八合とす

綱合除三万四千六百八拾石

二人刻一人あ六万三千石四十石
二十人刻一人あ六百二十石
三百人刻一人あ六百二十石四十石
二千人刻一人あ六十石二十石四十石
二万人刻一人あ六十一石二十石四十石

二之版

割



割



掛

總合本拾一万千六百九拾石と

三人を割一人が三万七千一百三十石
三人を割一人が三千七百二十石
三百人割一人が三百七十二石三年
三千人割一人が三十七石二斗三年
三万八千割一人が三石ヒ斗二升三石

三之段

九進三十
六進二十
三進一十
三二空二
三一三十一

十	万	千	百	石	斗
◆					
◆					
◆					
◆					

九送ノニモテ九ツ
六送ノニモテ六ツ
三送ノニモテ三ツ
三二送ノニモテ二ツ
三一加二ノニモテ一ツ
二加二ノニモテ一ツ
一加二ノニモテ一ツ

割けり

掛けり

總合本拾一万千六百九拾石と

四人を割一人が三万七千一百三十石
四人を割一人が三千七百二十石
三百人割一人が三百七十二石三年
三千人割一人が三十七石二斗三年
三万八千割一人が三石ヒ斗二升三石

四之段

八進二十
四進二十
四三七三
四二天五
四一二二

十	万	千	百	石	斗
◆					
◆					
◆					
◆					

八送ノニモテハ
六送ノニモテ六ツ
三送ノニモテ三ツ
二加二ノニモテ一ツ
一加二ノニモテ一ツ
モワトニカタカタ

十	万	千	百	石	斗
◆					
◆					
◆					
◆					

三石人トモテ二
二石人トモテ二
一石人トモテ二
半人トモテ二
四人を割一人が三万七千一百三十石
四人を割一人が三千七百二十石
三百人割一人が三百七十二石三年
三千人割一人が三十七石二斗三年
三万八千割一人が三石ヒ斗二升三石

掛けり

總令系拾一万三千石參合

立之版

立進一十
九四倍双八
五三倍双六
五二倍双四
五一倍双二

十	万	千	百	十	石	斗

刻どより
立進一十
九四倍双八
五三倍双六
五二倍双四
五一倍双二

十	万	千	百	十	石	斗

掛どより
立進一十
九四倍双八
五三倍双六
五二倍双四
五一倍双二

六之版

六進一十

六五八三

六四六四

六三无五

六二三三

十	万	千	百	十	石	斗

刻どより
立進一十
九四倍双八
五三倍双六
五二倍双四
五一倍双二

十	万	千	百	十	石	斗

掛どより
立進一十
九四倍双八
五三倍双六
五二倍双四
五一倍双二

總令系拾一万三千石參合

六人刻人六人刻人六百九石
六人刻人六人刻人三百六十石
六人刻人六人刻人二百三十石
六人刻人六人刻人一百三十石
六人刻人六人刻人八十石
六人刻人六人刻人三十石

五人刻人五人刻人二方四百九石
五人刻人五人刻人二方四百六十九石
五人刻人五人刻人二百零九石
五十人刻人五十人刻人二十石
五人刻人五人刻人五万石
五人刻人五人刻人二石

總合來拾六方字三百。宏平と

七八割一人お二万三千百零七千平
七八割一人お二万三千百零七千平
七八割一人お二万三千百零七千平
七八割一人お二万三千百零七千平
七八割一人お二万三千百零七千平

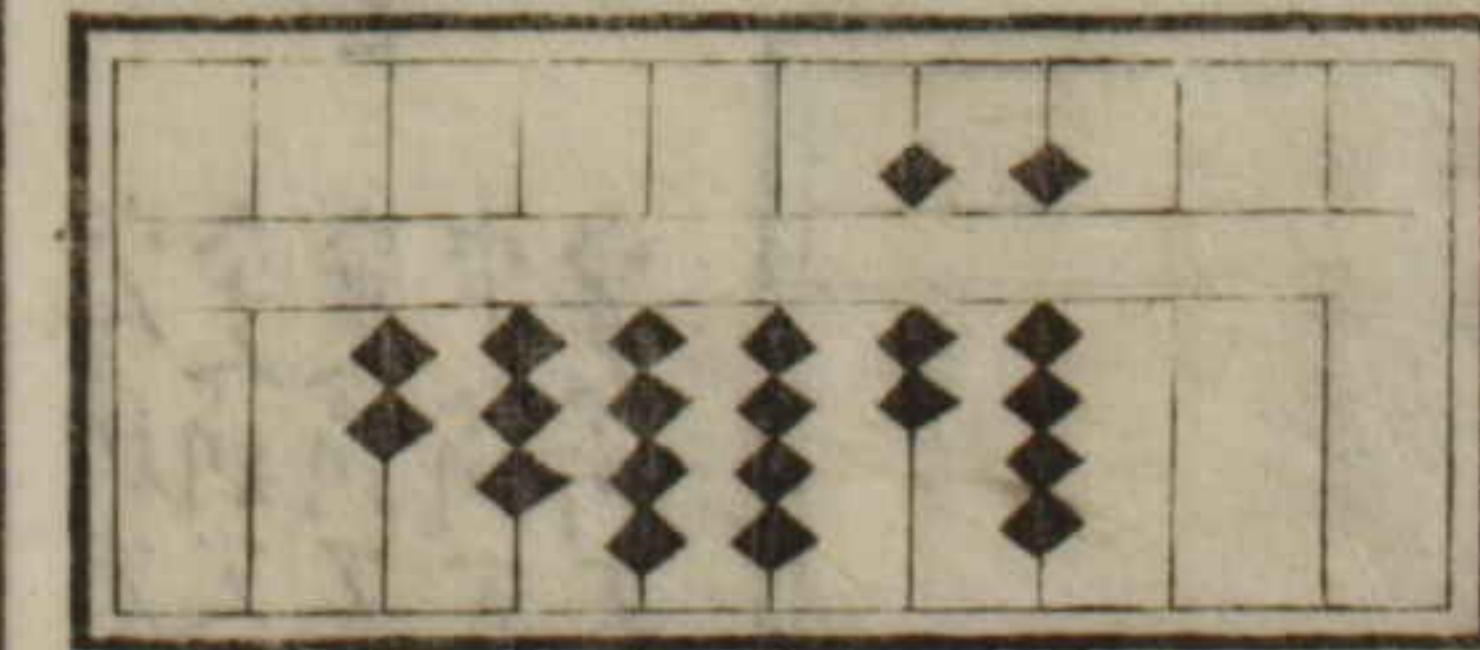
七之版

七進一十
七六八十四
七五七十一
七四五十
七三四十二
七進一十
七二加六
七進一十
七一加三



よりやう

七進一十
七六八十四
七五七十一
七四五十
七三四十二
七進一十
七二加六
七進一十
七一加三



けくわ

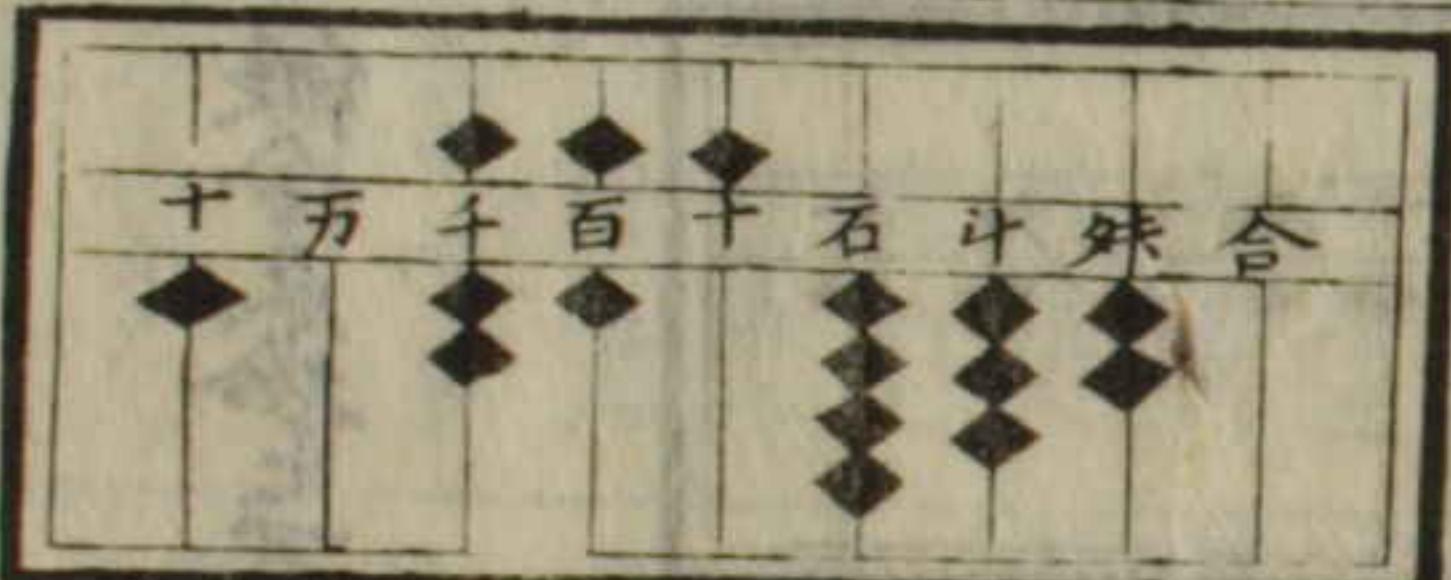
七九六下三とえ
七七四十九とえ
七六九九とえ
七五八一とえ
七四七九とえ
七三七九とえ
七二七九とえ
七一七九とえ
七〇七九とえ
七九六下三とえ
七七四十九とえ
七六九九とえ
七五八一とえ
七四七九とえ
七三七九とえ
七二七九とえ
七一七九とえ
七〇七九とえ

總合來拾六方字三百。宏平と

七八割二人お二万三千百零七千平
七八割二人お二万三千百零七千平
七八割二人お二万三千百零七千平
七八割二人お二万三千百零七千平
七八割二人お二万三千百零七千平

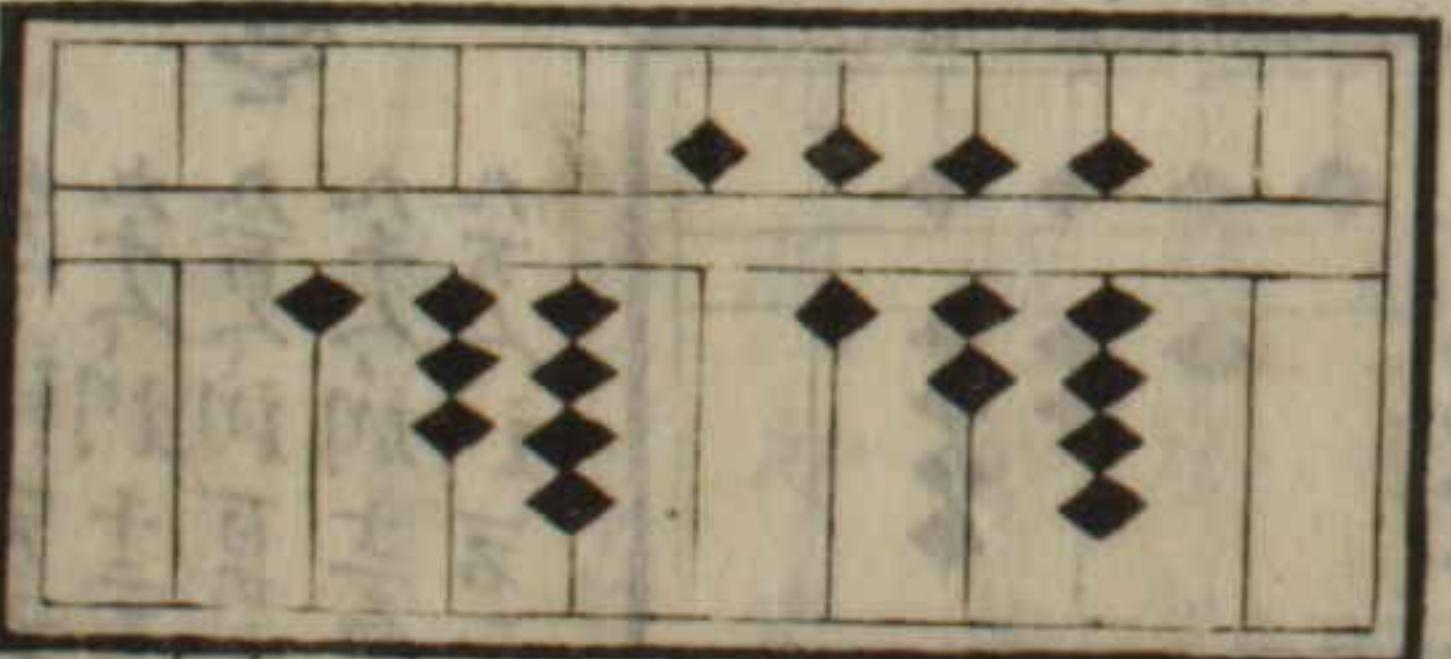
八之版

八八進一千
八八七八
八六七十
八五六十二
八四五六
八三架六
八進一千
八二架四
八一架下二



刻どうり

八進一十
八六七十
八五六十
八四五六
八三架六
八進一千
八二架四
八一架下二



けくわ

總合乘除之首尾之平正合

九之使

九進一十

はかハ祠
わがより
を放不
れりう

合	殊	汁	石	十	百	千	万

九進ノテミナ拂	九八ナトニツカ
九八ナトニツカ	九七ナトニツカ
九七ナトニツカ	九六ナトニツカ
九六ナトニツカ	九五ナトニツカ
九五ナトニツカ	九四ナトニツカ
九四ナトニツカ	九三ナトニツカ
九三ナトニツカ	九二ナトニツカ
九二ナトニツカ	九一ナトニツカ

九九八十一	九九八十一
九九八十一	八十八
八十八	七九
七九	六八
六八	五七
五七	四六
四六	三五
三五	二四
二四	一三
一三	九

九九八十一
九九八十一
九九八十一
九九八十一
九九八十一
九九八十一
九九八十一
九九八十一
九九八十一
九九八十一

九合計一万至二萬年年森合
九合計一千百三十宮年年森合
九合計五百名年年森合
九合計士三百軍年年森合
九合計石二平三昇答守空九

頭直く号

見一進九加下一	減一加下一	九内一内用
見二進九加下二	減一加下二	内二内用
見三進九加下三	減一加下三	内三内用
見四進九加下四	減一加下四	内四内用
見五進九加下五	減一加下五	内五内用
見六進九加下六	減一加下六	内六内用
見七進九加下七	減一加下七	内七内用
見八進九加下八	減一加下八	内八内用
見九進九加下九	減一加下九	内九内用

右以直ハ九角除の事アガキと導下小
ニヤリ云々

見一と刻多の丸目を
似るともうてよけと
しの所要となくへ本
書の根も括式を三草
目ともかく刻て試す
初手のかん刻付真板
とれ重りやう

立木す刻音罕ひなやう
至人本刻三百草金六ト九
四丁人本刻二見九十自下す
卒ニ人本刻二百九十五下
六丁人本刻一百九十五下
七丁人本刻一百七十五下
八丁人本刻一百零九十五下
九十丁人本刻一百零九十五下

九ぬ除と用と降と矢九因末は等ば
れりと板ひ坐のえみ初小又一九かト
一去多内はせ一と見て九と一と二板小
作り之は立初一見の二字と見て
以直の三名と見一とりよ也

△總令浪捨式せ三百草目

百式捨立人刻 そくあす
九捨八分下ニ重ニあす

百	十	人	十	百	十	分
◆◆				◆◆◆◆		

法云圓のぐくら、育根とをなす般とを板十貫目と云ふ
見一九か下一とみてなよ化りまゆの初一と入たの石のれの
式捨く今のがく九かくひ二九の十八と九の初と引入式捨の下
く五人と今のがく九かく半九と名めと初目と引き人がから
名目と見一トよき貴。式捨目育入を更に見一九か下一と
て九か下トの初一と入今がくを式捨く九かくひ二九の十八とみて今のが
下とみて後の一九かくひ二九の十八とみて今のが
とモト上上げて八とみはへ、をたと九かくひ二九捨とみて八とみはへて
引又立八名とみて二九目と引又立八名とみてトト、九捨目育
は九捨目と一ほと一とみてと一と二九目とけーと一と二九目とけーと
大と九九と併ニ七名とみて次の初とて引又立七三十とくとを

三机目を引くを以九拾八分七十斗下下と云ふ下有此云女と一送の一と云てと云はとけで引く本は二重と云ふ本と二二引くと云下引く又二分十と云てと云ひ引拂六人あ九拾八分七十引くと云ひ見下り又九と云ふ成れ事と略

商實法幸集本
算盤と同字用
平立と廉隅と立
二系三系木と廉
下廉と腐ト隅と其
凡すりて立すり
算盤と同平立と
廉隅と立すり立すりと
立すり立すりと

商
實
法
析
名

算盤の機と名首總令ハ浪と云々刻
付寶浪と右立並の機と實と云人枚と
左立並の目安机と法と云は目安と
右底別々の枚と商と立並り地弓
賣買普活檢地其かく候算木と云
と一矢名付て商實法と云ふ也

商
得
因

因家得商へ掛て
あ付初算也上又
掛て割ふ算ふ
有初收多んと挂
えん少くを立

二三割え
五七割え
十二半え
二十ふく
六百九え
此付初
是へ一とんくよ割て其
商あ掛目安を立

未百五拾俵有二斗六升入メ熟石枚と問
答云 五拾武石斗
間百五拾间有六斗守間メ熟石枚と問
答云 九拾七丈五尺
高百五拾石有六升六斗成大熟成と問
答云 八拾武石斗
金百五拾俵有六拾六分七斗充度代と問
答云 九貫九百目
布百五拾俵有二斗六升入メ熟石と問

全百五拾俵有六斗充度代と問

ぬ除得商と俗よ相場別
トムニシト御る竹と亞
ミシ紀ノク

根九貢五百目と宿公等
メ金何経と向

三斗三万七千目と根十本
法よニ根九貢九百目と

根八本と別百七十目
法よニ根九貢九百目と

五八九六五本と別百七十目
法よニ根九貢九百目と

の六本と二不し分五と
引出八九六五本と別百七十目
とケナ本と向。又会を

通百七十目と別法よニ
自ノミシテ根目安と辛本と
方別二十本と不と向

あと根本と別十目と
少く根本と向

根九貢五百目と根本とハ本
見と布本と向

三斗三万七千目と根本と
法よニ根九貢五百目とハ本

八本と別百七十目と根本
人本と本はかく經一席と

根本と曲本と絲の本と
引出

本式百七十目と石
三斗七千目代金と向

三斗三万七千目と向

固

答云 武百官拾石

法三三百石と右、金とれくの如く根本
急とんくの貞教と切

木立拾武石牢有二斗牢依テノ依教と向
根九貢九百目有六拾本等ノ小判と向

答云 百み拾依

太教九拾七本又八百六十目付と向
答云 百み拾間

也成八拾武石牢有六目付と向
答云 百拾石

根九貢九百目有六拾本等ノ小判と向
答云 百拾本

根九貢五百目有十本と布本と向

答云 百五拾本

本式百七十目と向

根本と別百七十目と向

答云 百五拾本

法よニ根本と向

三斗三万七千目と向

本式百七十目と向

法云系八百石軍自除

除

各云六百六拾鴨

另數六人守之無六人守之割

法云依核三年算之每石牛三年割直核割也

續核之核之安之無十二石下割

六石軍自除六石軍自除

除

全友割捨自六八百石自除毛自割向

答云六拾鴨不三乘

法云核自六八百石自除毛自割向

六石軍自除毛自割向

是公私毛自割寫自毛自割寫毛自割寫

毛自割寫毛自割寫毛自割寫

毛自割寫毛自割寫毛自割寫

毛自割寫毛自割寫毛自割寫

毛自割寫毛自割寫毛自割寫

全友割捨自三乘自小割之何

割之何

本綿仕合ひ好本書く
本そ西のかけ下へを
と小糸トシ老ふ賣波
上中下トシ仕合け仕度トシ
組トシ刻下りトシ名トシ波
何經トシ旨五入卒自

くトシ

と主席トシ浪波下トシ

旨中日トシ日安トシ下トシ

下日トシ日安トシ六七

法トシ百六十萬中トシ百
六百三十萬中トシ百八十萬
八十萬トシ日主刻トシの法
六百三十萬中トシ百六十萬
四十萬トシ百三十萬トシの法
六百六十萬トシ百三十萬トシ三

下六百六十萬トシ百三十萬トシ三

全式百五拾トシ墨下トシ全子二人トシ金合トシ内
人トシ百五拾トシ墨下トシ全子二人トシ金合トシ内
のれあく本綿何經トシ旨

旨云

百五拾人トシ

中

四百六十萬

下

四百六十萬

中

四百六十萬

下

四百六十萬

百五拾人トシ

中

三百六十萬

下

三百六十萬

百五拾人トシ

中

三百六十萬

下

三百六十萬

百五拾人トシ

中

三百六十萬

下

三百六十萬

法トシ中トシの本綿トシねトシ、それトシの金合トシ
主トシ武百六十萬トシとトシうて割トシ、それトシの
仲トシ本綿トシねトシからうトシりをトシ算トシとトシる
長流トシ算トシ分トシ算トシとトシり

守トシ百六十萬トシ代トシすトシ本トシ守トシ何經トシ
答トシ百九十五枚トシ

幅トシ守トシ下トシ定トシ余トシ切トシ一枚

法トシ守トシ合トシ十六トシあトシ本トシ百六十萬
合トシ十二トシあトシ不トシうとトシ本トシ百六十萬
千四百トシあトシ刻トシ百九拾枚トシもトシ本トシ拾トシ
あトシ取トシうとトシ本トシとトシ分トシとトシ刻トシ

直步

首の方守すけ合十六あ

と刻り

又中経不育時たるを
右も屏風もすゑと経
の毛三尺八寸換そえ等
角は押す人面と重不
ト若く角板と同

至多百の四段不等を

法云経の毛と換ども
合五百三十歩あと數毛と
あしゆく毛の角八百
十步と四百四十步亦百本
八百六十步と每千六百六
拾八步より毛と角毛と
あ段十六步と刻り

三寸木かきうやよ余の切れくふ下也
又ちくげとと刻浩何分何をく見
ト時ハナレ首の方ニすやトとうけミ
れのくじくもまく也

五尺繩ち武百束有ひ弓などの代定入
あてとみりと何経と

吾云二百四拾六本九分三厘堂
法云五尺繩合八武拾毛と本毛よ
武百束と毎五十步と本毛よ左
左と四尺守すけ合武拾毛。武券を
と本毛とて右も半步と刻り

絶廻りを考へ

坪

二人守すて十把と代よ

坪

四人守すて五把と

坪

三者方守すけ合

坪

ノヘらんニテ二人守すて五把

坪

把と代す四人守すて五把

坪

ケリハ少くと四人守すて五把

坪

把と角ふ武人守すて五把

坪

也右成毛と財火繩の物と

坪

入て見合と

坪

坪坐く折本刻毛と

坪

とて未口分す半口と

坪

人守すて二間しれを

八拾五半く代す角

武間本底丸などとす

そとて置。武半のを

法を未を重合せり。割

あじまくとてこれをか

け合七九とみけたるをか

と底見こととけ二万字

士百降と改えハ底をキとケ

少百。三万四千五百件と多

見どら。並列より半すけ

合ふ様をもと改めよ。弓

とみけ五千件ふれよ。弓

と刻里百。武半のみと

かじり。並固法今來底

と刻里百。武半のみと

合ふ様をもと改めよ。弓

と刻里百。武半のみと

合ふ様をもと改めよ。弓

と刻里百。武半のみと

合ふ様をもと改めよ。弓

と刻里百。武半のみと

合ふ様をもと改めよ。弓

と刻里百。武半のみと

合ふ様をもと改めよ。弓

弓より六五けよよかとして
もうなすよ。一
板又ふもう呼くやうきてそゆく
木底と改めよ。弓は呼と今來木
四のあねよ。割くと木と改めよ
又刻法で何を何をとるかする時へ木
しきとと大きよ。てみけよ。一
は五天に方深と七尺とわからずして何程
え井と何程入とと向

吾云。立井。或捨八石

今井。立井。立井。立井。立井。立井。

法を立人とけ食て人ちひ捨すむ
毛と添せよ。弓天井百十捨五井と
す坪三尺とい捨七万五千井と底を立
原今井の法六三五と立をしてと割也
立く立井と張てハ十六とけよ。一
は立人六面と立井六井へ在也
立井二角より十角止のうつへものよ
升目板とへんくの立井と立合
えんくの立井と立合て。一桶を
立井自接へりと底と立合ニテ。割
立合はとけ固底七九。立井自接

合全斗と合。大至成
半斗丁へ四斗無合一信メ
半斗三斗。十二斗ハ合
と合を人二斗二八斗と合
三十斗と合。二十八斗
と合六斗と丁へ六斗と合
合を信十斗七斗と
合七斗八斗と合
七斗七斗八斗と合

法 裏 幾

○二斗四斗と合二斗三角
六斗合て九十九斗六斗
四斗と合と合大至成
三斗半斗合と合三十一斗
一三七斗と合はぬうりと浪
しも合て六斗目と合

先へ太とせ知る固裏と法
何とせ降とて板外の法ら勝と
組序法の御ニモモ首とす
毛才久と年教合百拾六斗と
次男一ちり裏りひ男トニ男一六斗裏
三男一ちり裏り四男トニ男一六斗裏
裏り也落との年教と同

母父三拾五歳 次男二拾八歳
晉云三男二拾二歳 四男 拾八歳

赤子拾二歳

法云裏りちとち太と重を七斗三男

桶入目と勝る人合を
たゞハシテ合と合と桶
又今斗何れで入と云ふ
三えど再自因と九九と
三三と七と云て五石七
斗と九石七斗と一割と二斗
七斗加て二石九斗七斗と
八斗合て二石九斗七斗と
人合と合と桶と合と年教
四石八斗合と合と桶と合
二石八斗合と合と桶と合

の裏り六斗合て十二斗合と合
二拾と合と人合と合と桶と合
拾と合と合と合と合と合と
十七、立男一裏り七斗合と
を加て合九斗合と合と年教加百七
拾斗と合と底人教又人合と合
合と合と合と合と合と合と
如て是底又合年教又人教と合
年教と合と合と合と合と合と
合と合と合と合と合と合と

そすとくとておれ
貨妻法橋と自別付
能令橋と銀立拾自ら
掛町、別付かとすり
好橋南より町橋小三町
を南少く、橋をへま町
ハ各口銀よか一南へ怪
四百自元裏ておれ、北
を主の自元橋ておれ、北
して名額と局

一 六丈三百七十丈
二 立丈九百七十丈
三 立丈五百七十丈
四 立丈百七十丈
五 四丈七百五十丈

先をあらうと人を後妻と引と如
如行も千二百立拾石け成音立拾石
皆四百立拾石へ上田 五百立拾石へ中田
武百立拾石ト田純うたと田より中田へきり
下妻、中田ト上田へきりニ下妻り也
ノ付りのくいく内成元と古

上田 オウハナミ武屋

下田 ミチ。武屋

法云中田立拾石へきり下妻八拾
武石五斗ト水又上田武百立拾石へきり

北 一 六丈三百七十丈
二 七丈三百七十丈
三 八丈三百七十丈
法云一二三四ト重合十丈
是三四百自と銀立す自己
と銀立加く前、一二ト重
合三ト銀立す目と銀
三ト自ととをあく自と
川少銀客と自と自と
町役八町、別橋と一の
銀立加く

下トモリ下ト合武ハ不滅と
色立拾石へ四百立拾石へ半丈
半丈立拾石へ七百立拾石へ半丈
半丈立拾石へ七百立拾石へ半丈
半丈立拾石へ七百立拾石へ半丈
半丈立拾石へ七百立拾石へ半丈
半丈立拾石へ七百立拾石へ半丈
田、武四ハトとクニロ合て也成二丈
也ちモ別付シテ不足し也成とたて
其後妻と引と立すり
銀立貫と人殺五人奉ナト付ひ多く

小舟人役不務成灰
如何。土之多々力筋
仕善ナテ、各何役充合

五百石 二千石四石五

三二 壬夏 千石四石三

二千石 壬夏十九石三

活ム五百石九千二百石を
通七百石と五百石六千二
石と十五百石と二人三人
其と年均武衆九千石を
と合八千二百石を此
と西今と刻ハ千石并
六百〇九石七百六石此
手首石と五百石九
石又石刻九千七百

立下トリナヒ活ムア何役充合
一一番 二百拾人 二番 三百 安
吾ム 三番 三百目 四番 百人拾人
五番 百九拾目
活ム立人ト自一人川除ノアヒ二三四
立人拾人拾人モナドヨ密目と
是底モナセ自己加モタ。五十目と
毛と人枚穴と刻モナシモナシモナシ
モナシモナセ自己加モナシモナシモナシ
有毛と穴も刻モナセ目のあり矢人^スと
弓引活ム久シ日予人引弦り四人客と

石と九千二百石を合
刻付ニ千石と五百石
あくシトカナリ
今よ算トモトモ大喜と喜
たゞ六石ナモと限拾奉
男ト時活ム限付ナリト
して今後モナシモナシモナシ
高

大限四石下

二口四石

三口五石下

四口五石下

五口五石下

六口五石下

法 增

掛ニ拾目と取是灰武ツト刻拾人と添
列メ又モモモ目と立人と刻二百目
或毛メモモ拾人と如モモモモモモモ
如毛メモモモモモモモモモモモモモ
内モモ拾人モナシモナシモナシモナシ
世モモモ入モモモモモモモモモモモ
或裏活ム好モモモモモモモモモモモ
助ト六石ナシモモモ
限三百石拾人立人モナシモナシモナシ
少ナシト付モナシモナシモナシモナシ
トモナシモナシモナシモナシモナシ
トモナシモナシモナシモナシモナシ

重三十九目共是六トと也
穴をとがと也假に加へた本
とがと無假也ともう

吾云 中 日百八十目下
ト 日九拾九目下を

法云し自安一と西一二五も割八目
穴中の目安とはハド又一二五も割六四
目共はトの目安く板上中下と自安
在合二田田と目共もと板もと割毛
カウト和くもと一二五も割下
あく又中もカウト一二五も割下
カウトは木と腰毛と之

をもとよ一五二五も割六カ二割

時へたゞべ指空ふとそ
写入ると寫ふと下トト
ニ直目と直目と同
法云指空ふと四つよ
刻共下と目共もカウ
し本下とてニ直目墨
トカウ
今入ると紙墨すな下
分空空すと時カウ
ニ直トトト二五も
三五セトアリニと四
日更度アリニ下ト
育六へ算かと並度す
十六日三刻アリナフ
分二刻半アリシム

根三百零目ト四空ももととと
ト度アリト付トアリ中ト四三刻
中トトト四ニ刻アリトて多何度ア向
ト根三百零目ト

重云 中 日百。八百ト空
ト日七拾六目ト空

法云と目安を一と西入石中に

多何役向

一一番ハ五下

二番

三番左下ト

四番

左下ト

五番

左下ト

六番

左下ト

七番

左下室

八番

左下室

九番

左下室

十番

左下室

十一番

左下室

十二番

左下室

十三番

左下室

十四番

目安一トを以て内ニ別引除て古と在
 加トの目安ヘ中の七、又太人魚ニ九
 メ先とたゞ合てニモ九ノ本是
 トそ報もと別へとのれあゝ本是
 トさうり中のわらぐく又中のわらぐ
 ソホリトのれあくと減消もく
 士とさうりのわらぐくと減消もく
 石とさうりよ一トを以て内ニ別引除て古
 古ハ好ニ傳せてまわら
 ちるがまニ内ニ別引除
 せどりて多々アレシ也
 八度ハ三トを以て二別

石とさうりよ一トを以て内ニ別引除て古
 ひ百目どふは八十倍目を取するを
 まあむね口づく
 浪拾貢。或百倍乃至下室を三毛十系立
 ぬ有毛代をも上中トを組む

毛ヘハ東か六刻トトリ又武東を也ト
 中ト有毛ヘハ東内ニ別引又三毛一
 組上中トを毛ヘトト中内ニ別ト
 中トトヘ四ニ別トト毛ヘトト中トト
 下也。毛ナトトヘ四
 ナトトヘ六毛ヘトト内
 ハ内毛ヘトトヘ六毛ヘトト内
 ハ内毛ヘトトヘ六毛ヘトト内
 ハ内毛ヘトトヘ六毛ヘトト内
 ハ内毛ヘトトヘ六毛ヘトト内
 ハ内毛ヘトトヘ六毛ヘトト内

上浪毛要立百ニ拾目

毛番 中内九百六十拾分下室

ト内六百。安下室毛七五

上浪毛要立百ニ拾目

毛番 中内九百九拾武也

ト内九百九拾武也

加ハ拾取目七十毛毛毛毛毛毛毛毛

毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛

三番 中日毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛

ト日六百十春合下毛毛毛毛毛毛毛毛

法毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛

毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛毛

又是へと子△百十反
と合又是へ百半反加△
二百六十反へ右三角点
四合七百三十反と想
根△加△合五百八百半
と想目安三千二千刻
之をもく羅△か也

紙四七百三十反又一ト
ちう有生と之は相
波△と之をもく羅△
ニカキ△紙△か△刻半
裏△二反△紙△二反
之△紙△内△刻△裏△ね
之△紙△内△中△下△う
手△一反△切△を△裏△向

根△二反△自△有△生△と△只△を△引△時△一反
三反△り△裏△二反△二反△ハ△一△倍△れ△だ△立△と△言
法△三△ト△た△志△と△唐△メ△二△と△本
法△三△ト△た△志△と△唐△メ△二△と△本
之△と△加△三△ト△本△又△と△唐△メ
四△本△又△と△加△七△ト△本△又△と△

一番 中 上 八百宿目
下 嘴 声 容 加 倍
六百八拾目

二番 中 上 六百八拾目
下 音 半 署 倍
五百八拾目

三番 中 上 五百八拾目
下 嘴 声 容

一倍 ト 八百宿目
六百八拾目
嘴 声 容 加 倍

六百八拾目
音 半 署 倍

五百八拾目

一倍△と△ハ△合△と△加△十五△本△見△て
△モ△自△と△刻△ハ△き△多△の△え△あ△と△本△見△て
△モ△自△と△刻△ハ△き△多△の△え△あ△と△本△見△て
△モ△本△底△傳△か△と△

根△二反△目△有△生△と△人△よ△分△け△ト△と△
△モ△ト△二△反△ハ△ま△分△二△反△ト△二△反△と△
△モ△三△反△ト△二△反△ハ△ま△分△二△反△ト△二△反△と△
△モ△古△何△経△元△と△向△

一倍 ト 八百宿目 二番 八百目
五百八拾目 二番 八百目

五百八拾目 二番 八百目
五百八拾目 二番 八百目

木毛石舟梳六斗合
して毛信石下三度升
ト根木毛何往に向

一斗木石一斗九升四合八升

梳三石一斗二升六合九勺

木石一石九斗四升八合六

二斗木拾石三斗八升四合六

梳三石八斗九升六合七勺

木石二石八斗九升六合七勺

三斗木石一斗九升六合八勺

木石三石八斗九升六合九勺

木石七石十斗九升六合九勺

木石三石八斗九升六合九勺

木石七石十斗九升六合九勺

木石十二石一斗九升六合九勺

木石三石八斗九升六合九勺

木石小豆石一斗九升六合九勺

木石小豆石一斗九升六合九勺

木石小豆石一斗九升六合九勺

木石小豆石一斗九升六合九勺

木石三石八斗九升六合九勺

中六斗分中より下へまか
れ一石は輕車度へ重き
上をもぬる者をして人中
きる卦斗二升より下へまか
六斗より大豆そよふきより
きる卦斗二升より中へ云
う年より下へまかるへあちへ
まかる卦石二升より中へ二石
よ六をまかる卦石二升より中へ二石
五年より下へまかるへあちへ
まかる卦石二升より中へ二石
五年より下へまかるへあちへ
まかる卦石二升より中へ二石

教と同

上 卦十二石

号

木 中 十二石
代金八石三斗

分 五

下 五石五升
代金三石五升

目安の立と云う刻ニテ減毛二合自
安之代と四つと刻一ノ本是小豆の目安
ニテノ目安合九七爻ノ本是也全と刻
本と升數加えねど第半くよ二つと刻
立の升數と知全底を盡む内
あく卦石も二ねどもよりもあて意餘
とよんで勘定アリト六和ノれを安と贋た
根三百目と二ノ人所引は一人ノ分ニ刻
半ノ利一人ノ四ニ刻ノ利一人ノ分ニ刻
ノ利ノ三通ニ定ニノ利合軍繁
分三九ト互に何する乎根何經元爲言

六

卦 二日九百三十文
内二斗九百三十文
キ根百。土安八分六厘毛一系七忽
布根八拾四分四厘空毫六系六忽

三ノ九ノ左蕨幸利合根百零八分八厘毛一系六
法毛一系七十二半毛利八十本是内ニ刻半
自安ノ入一ノ九八合四毛内ニ刻半
目安ノ入一ノ九十六半毛利六本是内ニ刻半
六刻ノ目安ノニ合二三ニ五本是内ニ
三百目と刻ノ有少ホナシも根幸利合
ス（ト）は根であるノの目安と無土毛
の本法ノと見

又太豆と二年と定は代
定の中二年半升と定は代
全五斗三升也トハモ斗二升
立合と定は代六斗ニ至三口
合。今が一至八斗太豆と目是
又小豆と二年半升と定は
代二斗五之中二年半升容
立合は代立合と下昇否
立合と定は代三斗六升
二口合。一九。大二斗小豆と
目安と二冬と二角豆合て二
反二斗六升二斗と水豆と
全容二反。四二七升と水豆と
目安と二冬と二角豆合て二
反二斗六升二斗と水豆と
全容二反。四二七升と水豆と
目安と二冬と二角豆合て二
反二斗六升二斗と水豆と

捨豆と中豆とを二年
刻豆と半升ハト豆とを二年
又上豆と半升と大豆の
上と見て二年半升中大豆
五石豆と定は代二年半升
石七斗半升とトと定は代
大豆と半升と小豆と上と
見と二年半升二年半升
豆と中とあふ豆と定は代
三斗七升外み合とト小豆
刻て知。一
汰晉後、人全三千三百九十人
人と中央一村より東西南北
の村へ刻渡時本ニ村々り

銀三百目と或人所居ト附ト人ハ二刻半一人ハ
二刻と利足と定二人たと利足と定
トばい面の有銀何段此借シテトと問

手銀百三拾三反二斗二升二毛
二刻半
利足三拾三反二斗二升二毛
言云
手銀百六拾三反二斗二升二毛

法度武刻半と手と如く二刻半
利十二半と水豆と手底十加(二十二
半)水豆と二百目と刻二刻半と手
銀と如く半二百目と角二刻半と手限

手銀二刻と手銀と如く
右銀三反二刻半次二刻と刻豆と銀令
二刻と十と見二刻半次十二半と水豆と
水豆と見と之代と十と十二半と
利足と手と合と手と

又二刻と手と手と如く二刻半と
二刻と刻ハハと水豆と手と十加一
十八と水豆と三百目と刻ハ二刻
刻と如けとれくの刻と如け
手と手と手と手と手と手と手と手と手と手と

系五百石と二年半附手底一百目

西二村有南三村を當
二村を總て中央を東へ
後へ二倍を大苦西へ中央
も後へ半分先を大苦南
へ中央を後へ二倍を大苦
小へ中央を後へ三分の二
れだ苦めはく別付で苦
大人教とる

中央一村百六十人

東一村三百三十人

西一村三百四十人

東一村八十八人

西一村三百四十人

東一村六百四十人

西一村四十一人

東一村三百三十人

西一村四十一人

東一村五百四十人

西一村五百四十人

駄賃銀六斗先三斗後三斗三里一西へ
五里一西へ八里有石二ヶ所駄賃銀
分廢止絲糸付セトシハ何種元と向
三重系三百。二石。二斗。二勺
駄賃銀三百六拾三石下三重
苦云童米百石を石武斗モ年二石
駄賃銀三百六拾三石下三重
苦云童米七拾石七年弃答有石
駄賃銀三百六拾三石下三重
法云童米五石二里モ別付又一
石と並童米モ別付又一石と並八里
三五と合八二五と是モ五百石
と別付六石。六石と法云別付五石
里と未と又モ別付二と並五里の
未と未又モ別付一二五と並全と
未と未又モ別付一二五と並全と
先付モ二里ノモ多々付トヨリ三里
の未と未又五里の未と未又モケハ
駄賃銀と如ク
未と未又モ二里モ別付モ一里
付何種トスアシモ殊く未モ内立

元利三重五百目と二人より
立ト時を人ハシ三刻
立人ハ四ニ刻ヒ割付之を立
トム何とも立木分付
トム立根何羅免ト旨

立三脚立根一貫三百五十五束

割根四百束ナシ六束

四脚立根一貫三百五十五束

割根三百束立下里

立三脚立根一貫三百五十五束

割根三百束立下里

立三脚立根一貫三百五十五束

割根三百束立下里

立三脚立根一貫三百五十五束

割根三百束立下里

立三脚立根一貫三百五十五束

割根三百束立下里

立三脚立根一貫三百五十五束

割根三百束立下里

立三脚立根一貫三百五十五束

割根三百束立下里

板座合割上ハキト直のり何羅く
立木免トム是割付之を立木
の目安とリテそんくの立根と立根
立ニ百束とニ西ウケト付一匹ハ町六万
石ナリ一匹ハ六町四万石ナリ一匹ハ八町六万
石ナリ也は活用ナリ時名と立のを立
又如引ヒ割付甲シカヨリノ所レ
トクノ名何羅免波トシテ向

四町五万石九百畠。立木免
立木六町四万石九十七拾五畠

立木六町五万石九百畠。立木免

法木免立木免四町ノ町ノト割ニ五ト
立木免立木免三五ト立木免目安ニ一
ト立木免六町ノト割一六六六六六ト立木免
万石トナリ六六六六六六ト立木免目安
入木免立木免八町ノト割ニ三五ト立木
立木免立木免六万石ト立木免目安ニ一
ト立木免六六六六六六ト立木免
二二五ト立木免割付ノモト立木免
目安と立木免割付ノモト立木免
右木免立木免八町ノ町立木免
立木免立木免四町立木免六町

盛八町ノト割付ノモト立木免
立木免立木免八町立木免
立木免立木免四町立木免六町

人をもし増ね一まとの
並びと魚り
世話に並四流六とまで書
と仕込みされをもとたる
今大豆を拾ふをもとす
並流をもとお領しも時
並流の大豆二石有流を云
斗の升又並ハ二石二斗
豆ハ百六拾花久奴工は便
大宣一石流六斗一石四斗
八把焼メ多と云

言云

冬至土石。余答有五
流十石二斗。余答有五

始終定位表
表之
大宣宏牛。序。四
八把燒メ多と云

何合あると見えぬそれの割と多
名志を万石有何合元と鱼りを
の目安と云二口合と并と刻にて
の主手約て何段と多く見一ト
あよそれの目安と多く見る
あよと下かり

右もかふと好有と云と云意逐
と云て勘定と云御れと寔よ暗人
浪三度自育毛代三人と云けと付と下
中く何種成と云下ケて入中より下とも
雅下ケて下へとのすうれんなり古何種

吾云 中口を貢目

ト内六百六拾石を下室也
ト中て中下ト下也

下の浪三百三石を下室也
はまとて自安十と並アと自安ヒと紫ガモ
五と並板上下重合てナム此モニテ刻
七五と紫モと中の目安と云て右上トの
目安十五、加ニ十二五と紫モニテ三五自
刻ヒと云ひと云ひ

又トノ先へ云う法ハ上の目安と並ト
目安セニと並板上下合ニム是ニテ

並石八斗三合。谷三石充
。并石二斗。余答有五
並九拾六把。余答有五
。并石六斗。余答有三
流六斗。余答有五
二斗。余答有三合。余答有五
並石二斗。余答有五
刻モ斗二斗。余答有五
八把と並板。百石把。刻
余答有三合。余答有五
豆。余答有三合。余答有五
豆。余答有三合。余答有五
豆。余答有三合。余答有五

今をあて終を下す

味りと仕込みに仕あひ

六拾目人たまへきるまで

ニ石立年久はまへきるまで

金をかかれるまかく二百

把く人船へまくる舟全て

金をかかれるまかく二百

把く人船へまくる舟全て

仕込船へまくる舟全て

金をかかれるまかく二百

把く人船へまくる舟全て

刻一平本毛と中・目安とみて上ト
の目安三、如く四平本毛とぞ銀もと刻く
又中・先くえと法へれ銀もと三刻てと
えもりの銀もとをえと度へ九ノ刻て
トリの銀もとを妙くぞなとうけて
上のをの三刻て中のをの二と
うけて下のをのと妙くは九ノ刻て
本へ下へニワノ刻えことうけ
二三の九ノ本れく

銀百五拾五丑目背毛とぞとすと付
えあし人たぐへ百目とよひ多の人に

署目え傍りして旨何經毛とく問

一銀五拾五貫三百五拾七分至四毛三毛

二四四拾四貫二百八拾安七分至四毛

三四三拾三貫二百拾四分ニ至八毛六毛

四四二拾二貫百四拾五分ニ至七毛

法毛百目とぞとえと署目へ階てと拾

目背毛とぞとえと内武拾目へ百目ニ秀
武拾目下りくれにの目安へ百目ニ秀

八拾目へ内武拾目へ八拾目ニ秀

八拾目へ内武拾目へ六拾目ニ秀

六拾目へ内武拾目へ四拾目ニ秀

全百石あと余至まと
買付木金てまも六
斗人た豆ひニシテまへ四石
人也く車役を何事で外
教多かえだな若何れ

木百九石。九升。寺。九

伐金六拾分銀才奉下士全
木百九石。九升。寺。九

伐金落四分銀五七下士

麦百九石。九升。寺。九

伐金革下銀五三上士

落三千五百五十五石

石六升を別六五

と重丈至く車役二石五刻

中木八千九百五十九石

石六升を別六五

と車役九石自ら他へ中く四石

落三千五百五十五石

石六升を別六五

と車役九石自ら他へ中く四石

落三千五百五十九石

石六升を別六五

と車役九石自ら他へ中く四石

落三千五百五十九石

石六升を別六五

中木三間。
百卒貢目

落西八百疋十石下室二毛八五

百五十貫目

立拾貫目

町木三間。

落東二百四十安下至四毛一五

落西二百八十安下至四毛三

落東二百八十安下至四毛六

三拾五疋百四十石室二毛八五

三拾二疋八百零七石下室二毛一五

三拾二疋八百零七石下室二毛一五

法三町八百零七石自と三間口を別て

法三町八百零七石自と三間口を別て

名く何經元と白

鬼小姓百五十目

中小姓百三十目

お行者百拾八

承道九十目

料理人七十目

内公事五十目

法事九拾目と内金五萬

自と金と並銀六百目

内川あ字六十目と内金五萬

ありと中少姓とニ少姓

三十五五十六と内金内料足

の内と二川内金の内二川届

三音是とをと六十目と別

自トトリと九十九十目と度

の代銀と如て

右町以町未と云ひ町内監る所

町内と定郷令町「未申」とも云ひ

方へととと所と裏ふ町内とてすら

下へ町未とたゞととと町内と

賣家有底石ととと様のととと

助と六和ノ加署へもと

米合百十拾四石四斗八升納付名存

内内と大合引手を年

省と大合引手を割二合

通と大合引手を三合谷へ

支承六斗口承武井又と貨八年督答

二合加て是とニツコ刻て
半一升の升枚式升と加
版と式合えりて之
右立多と刻公ハ未ニ言
ト半二升を半に半を
而も半升を半に半を
而も半升を半に半を

小分め代八合

未言半升

中三合半升答

半升答

半升答

切引け自ハ支承モア系モ無事
して右納本と内溝と何種死と合
支承百四拾九石八斗五升零合七石。九
口承式石九斗九升七合百一方五れ
里之保拾九升八斗八合写支承
自升九升九合四石ニテ三れ
支承と自三升五合九石六方六九
口承と自三升九合九石八方八れ
法度支承六升と支承式升と支承八
升と自四合と又支承と自百石と
二方之支承と名加毛石と半升零合三石
ニ方之支承と毛石と刻支承と之
之は支承と支承ウ升と無支承の升
枚と升入支承と支承と毛ハ升
之升枚と又支承八升と之ケ支承入升
之又支承と合と之ケ支承と支承入升
未ニ支承と無支承と自ヒ支承入升
未ニ支承と無支承と自ヒ支承入升
自ヒ支承の好有ヒヒヒヒヒヒヒヒヒヒ

曳 分

右を吸脂と支承
たとて筋附へ附り
二間口三百八十石町東
二間口百八十石は刻そ
中三間口代金と同
言三石四千石

法度自

支承分町口角公升
五百。二五石と支承町東
の角を五石と置。支承
支承は中三石支承
町口の方へ二石八町東方
へ出別どもつて町口二
町目と町東の二町目と

賣方より附是より間足
代金何經よ當りか
紐を町へち捨てし旨

町以角清立間

四百六拾立友

町末角清立間

三百八十六友を

法度町役角立友。二友

五と五ろ口三割百友。今

前より中の三百をとふら

口割六ナムノ友を取を

内門番半友。立有板

半町うち板三十らし白

角金二二万引六中そ

もうち川番半角を立半

あ立と割五と水を一百

布と袖合百拾八弓と限を賣五百二拾
八分賣より附布へき弓有八分之下綱足
を端月拾友ナトヘ右ニ弓弓板板

差

何經元を口

壹云 納七拾五弓代限を委百拾五下

布四拾三弓代限三百六居友下

法度無端板百拾八弓布く無限公下

とけませ。二友と板を取を法度

うち引附て五百水拾友有半と左垂

左を綱で垂限拾友ナトと角布一弓

の垂限八分ナト引残七分をと代目安メ

金を返二不レ退

入町事へ角金冒。立友と

みら口割八拾五水拾友

内門申と割牙六拾五水

引弓二十水拾五水と

半町うち板三十間内

角金斗と二間引弓

九拾九水又水拾五水

九水半水又水拾五水

し向へ後とき水拾五水

引て

左と割へ納へ端板と板は板と無端
板を引落りへ布へ端板と無一
左底へ手をよせ端板と布へ左と無一
多手にて布と水をせ。二友ハ布へ代
とスナムス無代限へ因と引弓り五百
水拾五水へ無代限へ無端板と無端板
拾友みトと角布へ垂八分半下引一弓
争て左友元多く見一弓代友と左を残り
限へ無端板と無一弓限。左を残り
左をと割を端十友左へ残り一弓を無

端板と見

九拾六五

九拾六六 溝宿

九拾六七

九拾六八

右て通ひ入町毛八十丈
右内三十六步八十五丈
又三十九步九丈二寸半
角毛一束之粗松三千石
元引て

町 未 し

大店八五

大店八六

大店八七 溝宿

大店八八

大店八九

又布一袋板を先とす。法の粗板板に
継て座版拾立左下と魚モモセ八百丈
九本ノ木は内々代モモ百尺など
引糸三百。木本有足と底足とと
左モ捨木々半身ハ足スト引糸
左足也先と左を割布。割板と之
右て注毛毛と。粗板板継て座版並
毛ハ皆紹と。代織どんは内不も粗板と
引糸へ布四幅ニ席モ無ツ。其邊の
粗成れ遠ものかなと割七五元の廣り
と本て布と割板と。如く

紹十格八端く布四幅三端と合組モモハ百

横板八本と實ナ附紹へき鷹子布八七丈
ち坐之鷹子の座版何經元と合

言。紹十店五斗 指定半下

布と鷹子 八本五斗

法之十店五斗と云と。一指定半下
生灰也。粗板板合百格八鷹子割布
粗板八下と合之

右法の粗板板合百格八鷹子割布
引糸三十九目。内内右を平均八下
粗板八下と合之
法ハ車馬通粗板八斗
粗板二百半。名。车馬
法ハ車馬通粗板八斗
粗板二百半。名。车馬

吉

朱九百二十ニ張

大壹六百三十張

法ハ車馬通粗板八斗
粗板二百半。名。车馬

念佛題目合千五百遍
は笑字教一万。百字教百
音と同

音 頻目千百五十遍
念佛三百五十遍

天香傍く縁傍く縁と同

て一ノ子とすと細天香傍く
法むハ種種へ全剛六壯
由修合五千五百人細縁
等万千五百種落く修極同

音 天香四千二百五十人
音 禅 千二百五十人

法何止ト右門也

ト末下末と並足一反手
末下斗并く反上末

捨石六斗二斗各合ト末

二十七石三斗二斗各合と代
金合三拾五分を零とし

法と代金と並足と同

音 上末と代金合三合と
下末と代金合五分を零

金五分と末を二斗并

法と二口の代金三十枚。七五と達二斗并と魚七石六斗八斗各合と
二口の末を零と加へ供と五十石。六斗八斗各合と目安と代金三十枚。七五と魚八百石
七石三斗六斗各合と二口と代金三十枚。七五と魚八百石と零と目安と代金三十枚。七五と
二斗六斗各合と二口と代金三十枚。七五と魚八百石と零と目安と代金三十枚。七五と
七合十六と一通う割て是も十枚と魚三百五十九石九斗。六斗各合百石
を入今の目安と一通う割て是も十枚と魚三百五十九石九斗。六斗各合百石

音 木棒よ布く垂履もとと
雜子とくうとんと合六拾足有足教百
足と同

元木棒よ布く垂履もとと
雜子とくうとんと合六拾足有足教百

足教百足と同

足教九拾足

足教九拾足

足教九拾足

足教九拾足

足教九拾足

足教九拾足

足教九拾足

南小友材と釣りと合三千石と代金

九百八拾石率と南へ写成小へ写成

法と右門也

もとて筋とへ和とノルよ署人考之

右とが足とぬ有とととととととと

少と千二百石落石は写成音千七石

法と右門也

もとて筋とへ和とノルよ署人考之

金五分と末を二斗并

金五分と末を二斗并

二斗糸井と魚石の半糸井と目安を引かねば四石六斗八升合寄
そ一通う割て定二斗も八升と切らすを捨石。半升の容三百合を今
目安とてき相別知とて二斗高ニ合考へかは候べ候とてあは二、遠
水牛糸井と魚石。糸井と目安が引かねば半升を半合寄
そ一通う割定三斗も二斗加えよ式石。糸井八合ちあふ方有入今いの
毎とて一物割知て四斗高ニ合考へ却は度合三四とも二五、遠半糸井
とけや井二合考へ放是灰今いの目安より門あはる半升五升七升容
とてさと割定四斗高ニ合考へ下承く代金十八分二五とてあり從
二五へを分く座候と知れんくの代金をされくの石数と割知く

は差分法ハ世とて極く効く事とても五年ゆりめり或へ負
負廉と云お考へそねに吉げく六ヶ年もととて居候よとくも
滑公をいたずりひづ外紙面にてくらめナチ一正をとく御と求
度只々方と先を経ますとくに仕上げよと近に御と見
伏すてる御寔也

左余清三村付之玄本有毛ハ乱ねと法毛之ム其原ナシル

東西南三村の如ひも十五百石はお成六百石赤へ立成西へ四百石成南ハ三斗成
也あらと尙善と發色と仕込才と立成

東五百石お成二百辛石 東六百石お成三百石 東四百石お成二百石
西五百石日 二百石 西三百石日 百二十石 西三百石日 二貢十石
南五百石日 百辛石 南六百石日 百十石 南四百石日 百二十石
東三百石お成百五十石 や此何様も自由とが取んれ定法をしあと
西九百石日 三百辛石 云類之候ぬとが少加つ財の定度なと
南三百石日 九十石 其ふたよ江川銀元かと發表とあら
松林ね合武百二拾八卒底限モセ八百石目トニ置ク時松ノリ松ハ百十八
キヌカガ苦メ座候ハ松一斗付十二下松一斗付下松一本立候ニ古傳
元と同

左玄本
松
百辛石
は代限九百拾八卒

法えく多々く候じ百拾八卒ス松の座候ウタケ七百。八分一太邑ニ松
之内ヲ引抜キセ百三十六トク又松木料二百三拾八卒し内めし百十八卒

引出百卦拾手へ枝へ重ね公女下ト木の重ね方女合て二十九卦手内十五卦下
宮室と木とけ八首十目木と木もどらしそせ百三十互下ト内下引出二百六
指致女下ト木支桂へ重ね指致女下ト木下互陶へ七互下室を引出
五互下互やばか法 美と削桂へ枝く如く

皮筋ノ絹と袖と合て拾瑞入組絹ハニ瑪瑙と地ハモモ元ノ板は松子
抛丸と生たる羅士互ト終互を内添と何段互に向

奇ニ絹二十六階 絹二十四階と之

法玉器拾手及し内有陽枝へ半身し三拾引出拾手と玉唐子して二拾居
ハ袖ノ絹と如き是ノ裏手のう重ね下枝へ切削し墨くたゞじ軍士唐くニと
キナリス人ノ内下六十八人引出三十人んとて日一引抜り一ノテ削を
是と代りもと立とて卷石手と三十枚りセそ方へニ瓦瓦重セを方
ハ二十九互セもととととを互い次第十五互すれむ十五とすて残す多枚と
きを削してきをもとを立する方へ石板と之

シカモリノ道

